


# 第1期 定時株主総会

CHIグループ株式会社



## 事業報告

## 当社第一期

⊕企業集団の現況

⊕事業別販売の状況及びその成果

## 経済情勢について

➤平成23年1月期においては

- 円高、デフレ

- 厳しい雇用・所得情勢

➡ 個人消費は依然として厳しい環境

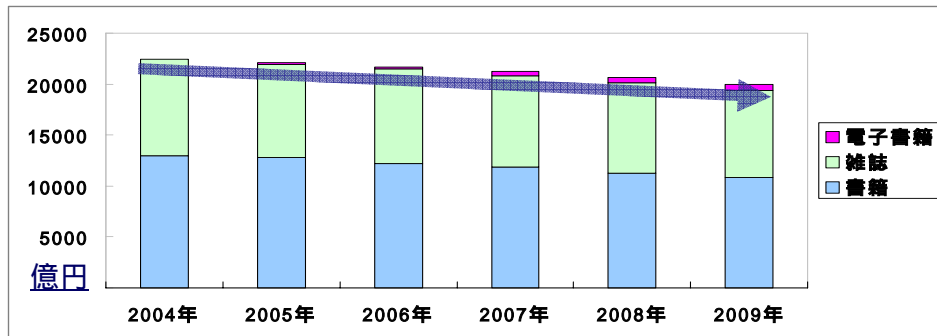
➤平成23年3月の震災後

- 日本経済全体に大きな打撃

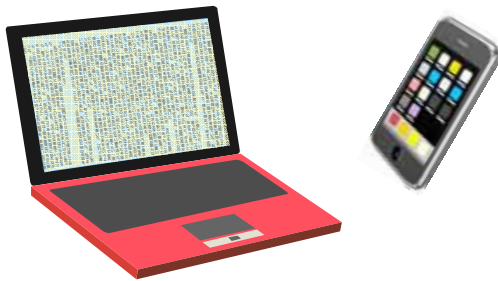
➡ さらなる厳しさと不透明感

# 出版流通業界

## 長期に亘る市場縮小の傾向



## デジタル化による新たな競争環境



淘汰・変革の渦中

# 当社C H Iグループについて

## 経営理念

価値観：知は社会の礎である

最良な知の生成・流通

革新的な仕組みを創出・提供

業界の活性化をリード

日本の社会に貢献する企業集団

# 当社CHIグループについて

2010年2月1日、経営統合により設立

## CHIグループ株式会社

株主：大日本印刷株式会社（DNP）  
（株式保有割合 52.29%）

丸善（株）

（株）図書館流通センター

# 当社CHIグループについて

2011年2月1日、7社体制に

## CHIグループ株式会社

丸善（株）

（株）図書館流通センター

丸善書店（株）

（株）ジユンク堂書店

（株）雄松堂書店

丸善出版（株）

（株）honto

## 当社第一期

⊕企業集団の現況

⊕事業別販売の状況及びその成果

## 文教市場販売事業

### 公共図書館向け

- 書籍、書誌データベースの販売は堅調に推移

### 大学、教育研究機関向け

- 年間一括契約商品の売上計上方法の変更
  - ▶第一期に限り海外学術雑誌等で売上70億円、利益ベースで13億円減少
- 書籍販売基幹システム移行の障害
  - ▶商品出荷遅延により計画を下回る

# 文教市場販売事業

## 大学、教育研究機関向け

### ●雄松堂書店の参加

- ▶ 海外からの学術情報提供で市場をリードするポジションへ
- ▶ デジタルコンテンツを含めた、研究者向け事業における協業の推進

# 店舗・ネット販売事業

リアル書店 **MARUZEN** (期末: 42店舗)

第二期よりジュンク堂書店が参加

将来的な統合も視野に

- 丸善から丸善書店を分社化〔2010.8.2〕
- ダブルブランド店舗の展開

**MARUZEN & JUNKUDO**

渋谷店

広島店

梅田店

# 店舗・ネット販売事業

リアル書店 **MARUZEN** (期末: 42店舗)

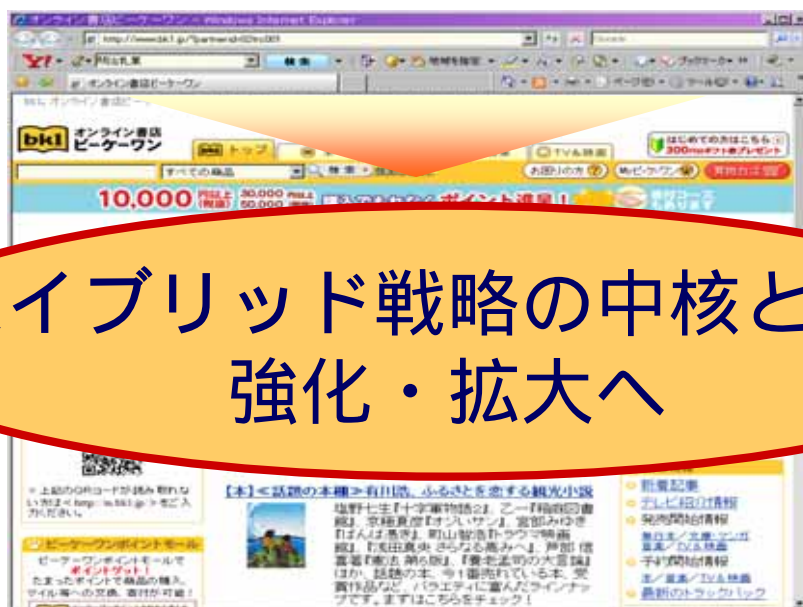
第二期よりジュンク堂書店が参加  
将来的な統合も視野に

出版市場低迷の中、  
グループの規模拡大により  
収益構造改革を推進

# 店舗・ネット販売事業

オンライン書店の運営

**bk1** オンライン書店  
ビーケーワン



ハイブリッド戦略の中核として  
強化・拡大へ

# 図書館サポート事業

## 公共、大学図書館における

業務請負[カウンター、目録作成、蔵書点検等]

運営業務[指定管理者制度、PFI]

人材派遣

▶ サービス品質による差別化

▶ 受託館数は期初比141館増加、計597館

# 出版事業

理工系分野[専門書・事典・便覧・大学テキスト]

ビデオ・DVD[医療・看護・芸術・経営など]

丸善から丸善出版を分社化〔2011.2.1〕

▶ デジタル化への対応

▶ 経営の迅速化

児童書 [絵本・童話]

▶ 合計 新刊277点を刊行

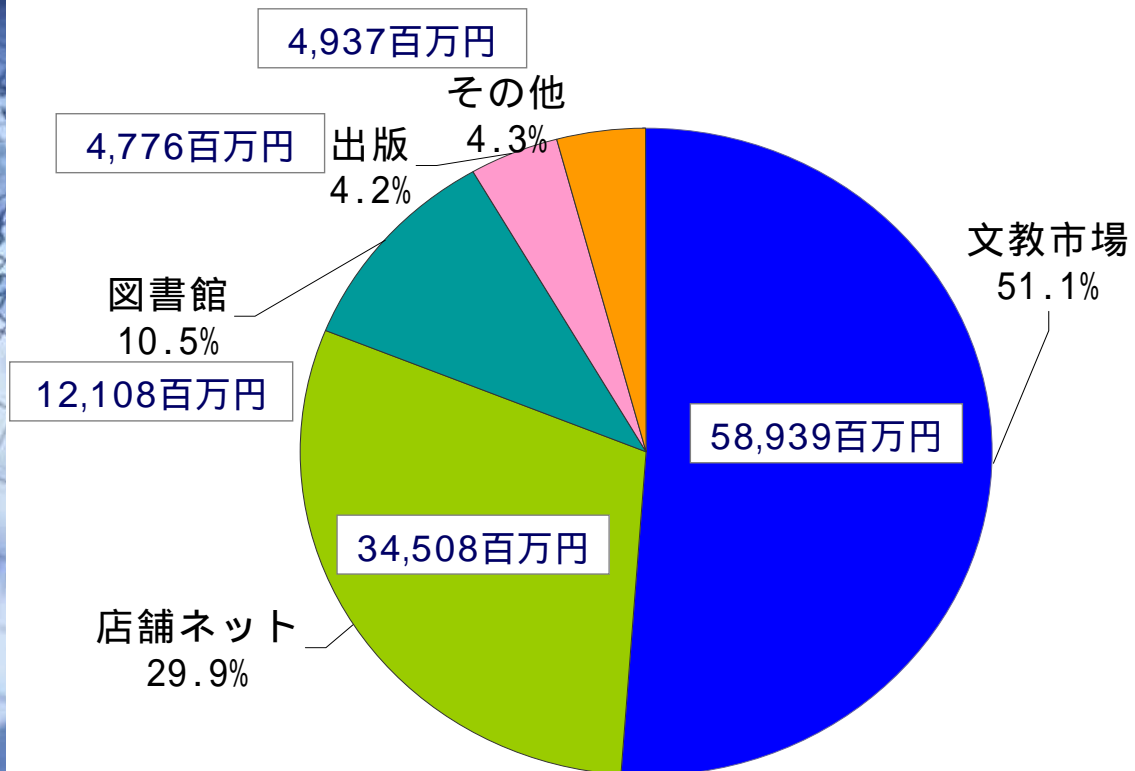


# その他事業

小売店舗向け内装の企画・デザイン・  
工事・什器等のプランニング

図書館用図書の入出荷業務

## 事業別売上高構成比





## そのほかの事業報告

お手許の招集ご通知の添付書類

5ページ から 21ページ を

ご高覧くださいますよう

お願い申し上げます。



## 連結計算書類

◆連結 貸借対照表

◆連結 損益計算書

# 連結貸借対照表〔平成23年1月31日現在〕

単位:百万円

<b>流動資産</b>	54,931	<b>流動負債</b>	45,230
現金及び預金	16,060	支払手形及び買掛金	14,890
受取手形及び売掛金	13,841	短期借入金	20,400
商品及び製品	15,052	その他の流動資産	9,940
その他	9,978	<b>固定負債</b>	6,222
<b>固定資産</b>	22,209	退職給付引当金	3,970
有形固定資産	10,856	その他	2,252
建物及び構築物	4,416	<b>負債合計</b>	<b>51,452</b>
土地	5,438	<b>株主資本</b>	25,901
その他	1,002	資本金	3,000
無形固定資産	5,086	資本剰余金	8,482
ソフトウェア	4,790	利益剰余金	14,419
その他	296	自己株式	0
投資その他の資産	6,267	<b>評価・換算差額等</b>	933
		<b>少数株主持分</b>	720
<b>資産合計</b>	<b>77,141</b>	<b>純資産合計</b>	<b>25,688</b>
		<b>負債・純資産合計</b>	<b>77,141</b>

# 連結損益計算書

〔自 平成22年2月1日  
至 平成23年1月31日〕

単位:百万円

<b>売上高</b>	115,270
売上原価	88,414
<b>売上総利益</b>	<b>26,856</b>
販売費及び一般管理費	28,112
<b>営業損失</b>	<b>1,255</b>
<b>経常損失</b>	<b>1,100</b>
特別利益	1,668
特別損失	734
<b>税金等調整前当期純損失</b>	<b>166</b>
<b>当期純損失</b>	<b>1,273</b>



## 計算書類の詳細

お手許の招集ご通知の添付書類

22ページ から 47ページ を

ご高覧くださいますよう

お願い申し上げます。



## 対処すべき課題



## 丸善株の書籍販売システム 更新時に発生した障害について

システム保守期限が迫り早急な対応が必要

20年以上未更新のシステムを全面刷新

過去からのデータを移行する際に  
問題が生じたことなどから  
不具合が発生

- ▶ 書籍納品の遅延、納品書の不備などが発生



## 丸善株の書籍販売システム 更新時に発生した障害について

現在、不具合の多くは解消

ただし、運用面では依然課題を残す状態

グループ各社・DNPが全面的に協力し、  
一日も早い完全稼働へ

- ▶ お客さまの信頼回復とITガバナンス強化による再発防止に全力を尽くしてまいります。

## 決算への影響について

当期決算については適正に行われ、会計監査人からも無限定適正意見

内部統制に関する自己評価において、IT全般統制について、重要な欠陥があると認識

▶ 内部統制報告書にその旨を記載予定

株主さま、お客さまをはじめ、多くの皆さまに多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、あらためて深くお詫び申し上げます。

グループとして全力を尽くし、早期正常化と再発防止に努めてまいります。

## 当社第二期の取組み

- ⊕ハイブリッド型書店戦略
- ⊕電子図書館サービスの推進
- ⊕グループシナジーの創出

### ハイブリッド型書店戦略

#### ●電子書籍ビジネスの日米比較

##### < 米国 >

##### < 日本 >

リアル書店数

・9,700店

・15,500店

1書店当りの  
カバー面積

・1,000平方km  
(東京23区  
621平方km)

・24平方km  
(山手線内側  
63平方km)

1書店当りの  
カバー人口

・32,000人

・8,200人

書店規模

・大型が多い

・小～大型まで  
多様

## ハイブリッド型書店戦略

### ● 電子書籍ビジネスの日米比較

< 米国 >

< 日本 >

リアル書店数

1書店当りの  
カバー面積

1書店当りの  
カバー人口

書店規模

米国: わざわざ車で出かける場所

日本: 通勤・通学途中に立ち寄れる身近な存在

多様

## ハイブリッド型書店戦略

### ● ネット書店ユーザーへのアンケート調査から

- ◆ 日本の読者の92.7%はリアル書店を必要としている。
- ◆ 電子書籍購入後も、紙の本の購入頻度は変わらない。
- ◆ 電子書籍普及後も、98.5%がリアル書店を利用し続ける。



## ハイブリッド型書店戦略

日本では…

リアル書店が日常生活の中でとても身近な存在  
読書スタイルもネットとリアル、電子と紙の本  
を併用

併存型のビジネスモデルを目指す

ハイブリッド型書店戦略

## ハイブリッド型書店戦略

ハイブリッド戦略に向けたアライアンス

競争  
環境

国内、海外、他業種含めた競争  
大規模かつ長期的な投資が必要

CHI  
GROUP

×

DNP

×

NTT  
docomo

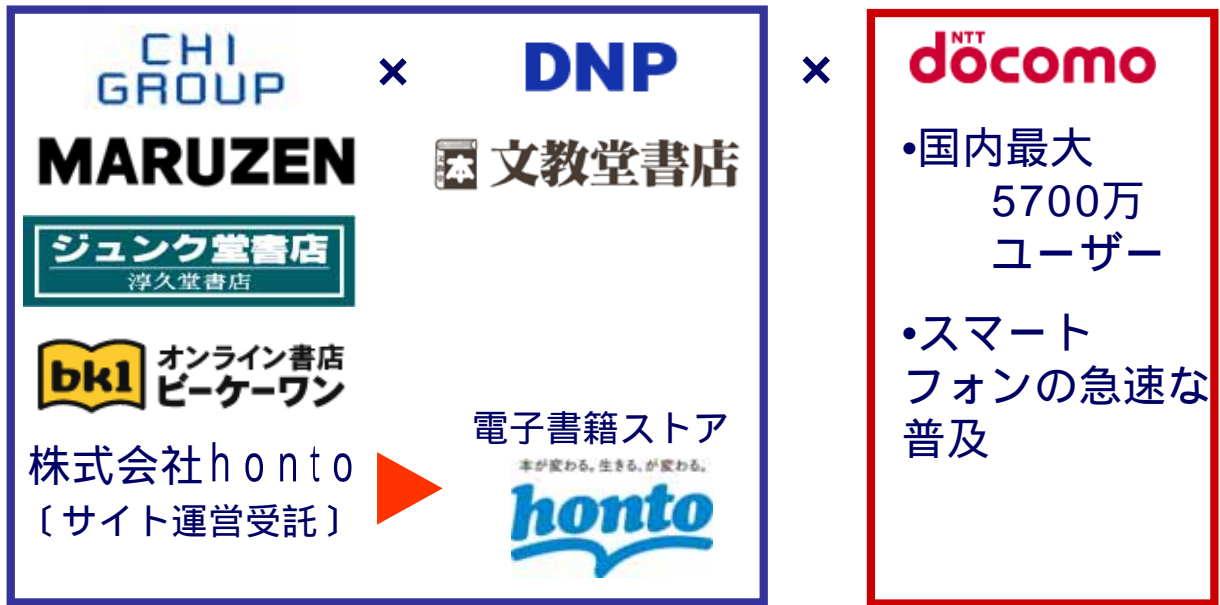
株式会社 2 Dfacto

設立：2010年12月

代表取締役社長：小城武彦

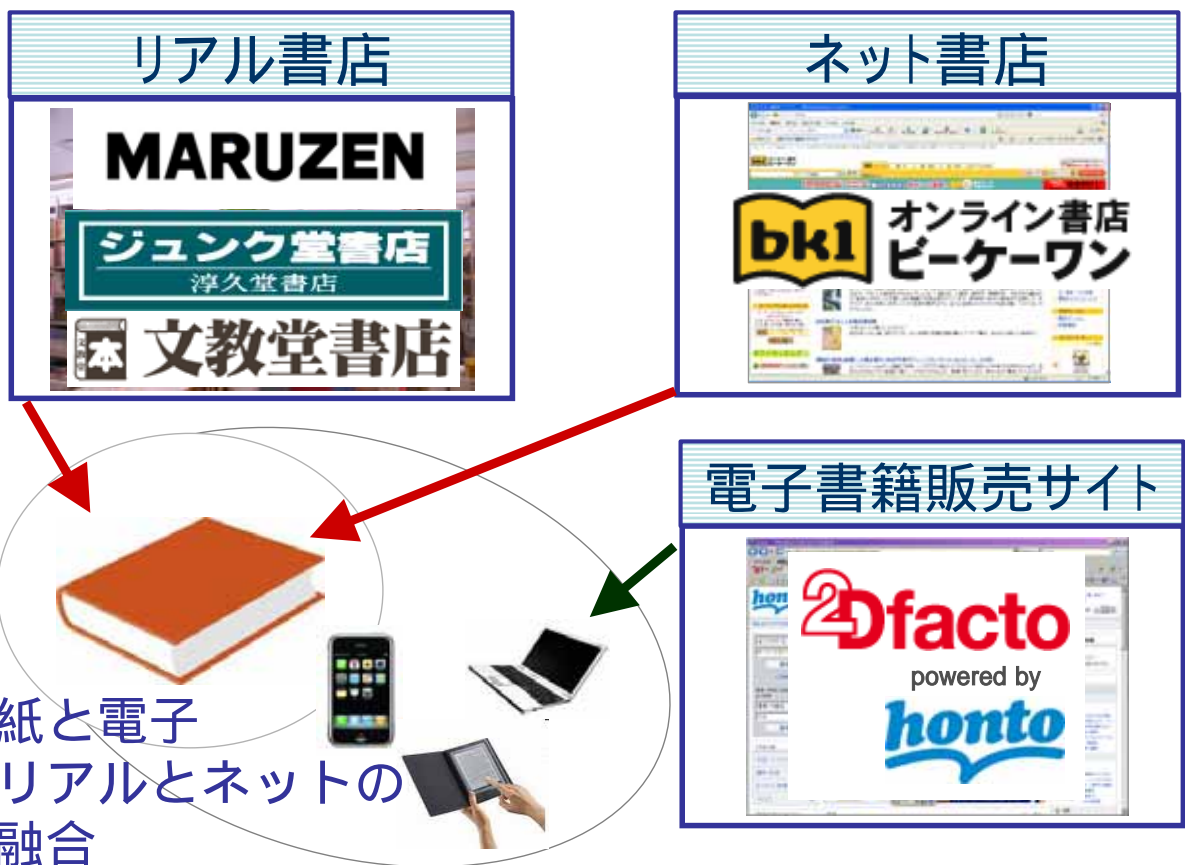
# ハイブリッド型書店戦略

## ハイブリッド戦略の推進体制



## ハイブリッド型書店戦略の推進

# ハイブリッド型書店戦略



## 当社第二期の取組み

- ⊕ハイブリッド型書店戦略
- ⊕電子図書館サービスの推進
- ⊕グループシナジーの創出

## 電子図書館事業への推進

### 図書館既存事業の現況

#### ●書籍販売事業

- ▶公共・大学ともに堅調に推移
- ▶TRCは公共でシェアトップ

#### ●業務受託事業

- ▶公共・大学ともシェアトップ

図書館向け事業で大きな強み

## 電子図書館事業への推進

### 図書館向け事業のコアコンピタンス

#### TRC MARC

日本最大の商用書誌データベース

全国の公共図書館の約85%が採用

多様性

最大1331項目の情報量を、

網羅性

年間約8万冊の新刊すべてに

迅速性

新刊発売と同時に提供

## 電子図書館事業への推進

### 図書館向け事業のコアコンピタンス

#### TRC MARC

日本最大の商用書誌データベース

全国の公共図書館の約85%が採用

このコアコンピタンスを活かし  
電子図書館事業を推進

## 電子図書館事業への推進

### 電子図書館事業の展開

#### 「TRC - Digital Library (TRC - DL)」 のサービス開始

紙の書籍と電子書籍 両方に対応する  
ハイブリッド型プラットフォーム

- 紙と電子双方の書誌検索が可能
- 自宅から検索、予約、借出、返却
- 練習問題など、電子ならではのコンテンツ

## 電子図書館事業への推進

### 電子図書館事業の展開

#### 「TRC - Digital Library (TRC - DL)」 のサービス開始

TRC - MARCの優位性

利用者の利便性向上

TRC - Digital Library の導入推進

# 当社第二期の取組み

- ⊕ハイブリッド型書店戦略
- ⊕電子図書館サービスの推進
- ⊕グループシナジーの創出

## グループシナジーの創出

(株)図書館流通センター

丸善(株)

(株)雄松堂書店

丸善出版(株)

(株)ジュンク堂書店

丸善書店(株)

(株)honto

研究者  
向け  
事業

図書館  
向け  
事業

文教市場  
事業の  
収益向上

専門書出版  
事業

書店収益  
構造改革

ハイブリッド型  
書店戦略

## グループシナジーの創出

(株)図書館流通センター

丸善(株)

(株)雄松堂書店

丸善出版(株)

(株)ジュンク堂書店

丸善書店(株)

(株)honto

TRCのノウハウを  
活かした効率的  
営業体制

文教市場  
事業の  
収益向上

研究者向け  
海外コンテンツの  
拡大

専門書出版  
事業

ジャンル・  
ラインアップ  
の充実

書店収益  
構造改革

ハイブリッド型  
書店戦略


統合による  
効率化・規模の  
メリット

## 当社第二期業績の見込について


### 震災の影響

- 直接的な影響は軽微
- 今夏の電力需給状態が不透明
- 引き続き消費マインドの低迷が予想される

第二期業績予想については精査の上、  
第一四半期決算開示の際に発表




今後ともご指導、ご鞭撻を  
賜りたくお願い申し上げます



第1期  
定時株主総会

CHIグループ株式会社






# 第1号議案

## 定款一部変更の件


〔参考書類50ページ〕



# 第2号議案


## 取締役11名選任の件

〔参考書類51ページから56ページ〕




**第3号議案**  
**監査役1名選任の件**

〔参考書類57ページ〕




**第4号議案**  
**取締役及び監査役の  
報酬等の件**

〔参考書類58ページ〕



# 第1期 定時株主総会

CHIグループ株式会社



## 第1号議案 定款一部変更の件



## 第 2 号議案

取締役 11 名選任の件



## 第 3 号議案

監査役 1 名選任の件



## 第4号議案

# 取締役及び監査役の 報酬等の件



新任役員を紹介

丸善CHIホールディングス株式会社  
新ブランド



MARUZEN CHI  
Holdings